



福島県立梁川高等学校

平成 30 年 9 月 27 日

校長通信

Team Yanagawa

vol. 31

■ おのが香にむせび木犀花こぼす (高崎武義)

我が家の玄関先にある金木犀が花を咲かせ、周囲に甘い香りを漂わせていました。朝夕は近くを通るたびに香りに包まれ、幸せな気分になりました。宮畑遺跡に向かういつもの散歩コースには、高さが4メートルにもなる金木犀から放たれた甘い香りが一帯を満たしている場所があり、さしかかると必ず歩みを緩め、胸一杯に香りを吸い込んでいました。金木犀は甘美な芳香を放ち近づく者に強い印象を与える一方、橙色の小花を無数につけている慎ましい姿から「謙虚」が花言葉になっています。また、短い期間に一斉に咲きながらも、秋雨に打たれてすべての花を散らす潔い様子から、「気高い人」の花言葉もあります。私はこの二つの花言葉を持つ金木犀に不思議に心惹かれています。3連休の翌日は朝から雨が降り、我が家の金木犀は雨に打たれたからか、あるいは自分の香りに息がつかまったためか、静かに花を散らせていました。



■ 太古のロマンに想いを巡らせて ～パレオパラドキシアの化石より～

今年の7月末、茨城県つくば市の筑波大学で絶滅哺乳類パレオパラドキシアの大腿骨の化石が発見されたという新聞報道がありました。この骨化石は65年以上前に福島市土湯温泉の東鴉川の砂防ダムの工事中に発見され、紆余曲折を経て同大学の収蔵庫に保管されたものでした。パレオパラドキシアは今から約1600万年前に生きていた哺乳動物で東柱目に属します。東柱目とは、のり巻き状の柱を束にしたような歯を持つ動物のことで、日本、サハリン、北米カリフォルニアの環太平洋地域から発見されています。その生態は謎が多いのですが、現在のコビトカバに似た体長1.5～2.0メートルほどの動物で、海浜に住み水辺を歩いたり水中に潜ったりしてゴカイやコンブなどを食べていたと考えられています。

実は昭和59(1984)年8月、梁川町上川原地内の広瀬川河床に露出した砂岩部層からパレオパラドキシアの化石が発見されています。今から34年前のことです。この時は頭蓋骨、左右下顎骨、歯、脊椎、肋骨、大腿骨、脛骨などほぼ全身の骨が確認されており、特に頭部が保存の良い状態で発見されていることは、この動物の生態や進化を解明するうえで貴重な標本になっているそうです。この梁川標本はその後、会津若松市の県立博物館に寄贈され、平成4年には福島県の天然記念物に指定されました。

パレオパラドキシアが発見された広瀬川河床は、阿武隈急行広瀬川鉄橋から上流に150メートルほど行った地点にあります。本校の校舎がある鶴ヶ岡からは目と鼻の先です。また、発見のきっかけは、昭和59年の夏は例年になく日照りが続き、広瀬川が渇水で干上がり川底が現れたからでした。町の教育委員会は大学教授や県文化課の協力を得て発掘を進め、その後に記者会見を行って化石はパレオパラドキシアであること、ほぼ全身の骨が揃っている例は世界的にも非常に珍しいことを発表しました。広瀬川の流れを見ながら、パレオパラドキシアのいた太古の昔の梁川に想いを巡らせてみてはいかがでしょうか。



左はパレオパラドキシアの全身骨格、右がその復元図。いずれも「梁川町史」より。

interview

司書の田代藍さんからお話を伺いました。以下のとおり紹介します。

Q1: 司書になろうとしたきっかけは何ですか。

A1: 幼い頃から本が身近にあったことと、大学の教授から紹介された「未来をつくる図書館-ニューヨークからの報告-」という本との出会いです。

Q2: 梁高生の印象は。

A2: 様々な悩みや事情を抱えながら頑張っている姿が印象的です。たまに私と同じ人見知りの子を見かけるとほっとします。

Q3: 最近、心を揺さぶられた本はありますか。

A3: 辻村深月さんの『かがみの弧城』です。一人ひとり物語の役割を持っていて、最後にみんながつながるという、現実の世界でも起こるかもしれないような奇跡が詰まったお話です。

※ご協力ありがとうございました。これからもよろしく願います。



生徒会役員の認証式が行われました



9月18日、校長室において生徒会役員の認証式が行われました。今回の役員選挙で信任された生徒は以下のとおりです。私からは梁高生を代表して生徒会活動を引っ張って欲しいこと、一所懸命に取り組めば必ず自分自身の成長につながることを、役員同士チームワークを大切にして欲しいこと等を伝えました。新生徒会長の結城亮太君からは、皆で力を合わせよりよい梁川高校を作っていきたいとの決意表明がありました。

【生徒会長】 結城亮太
【副会長】 斎藤羽、佐藤恵
【書記】 水口愛里、加藤洋平
【会計】 照内研斗、霜山那音、草間美咲



認証書を受け取る
草間さん



決意表明する結城君

県北高校駅伝大会が行われました

9月22日、県北高校駅伝大会が行われ、本校は保原高校と合同チームを組み参加しました。信夫ヶ丘陸上競技場をスタート・ゴールとしたレースにおいて、第1区(10km)に渡邊泰幸君、第2区(3km)に堀越雄乃君が出場し力走しました。10月に行われる県大会にも出場予定です。合同チームの健闘を期待しています。

野球部が練習試合で健闘!

9月22日、川俣・梁川高校連合チームは本宮高校と練習試合を行いました。結果は以下のとおりです。新チームになり良いスタートを切っています。

第1試合 川俣・梁川 7-3 本宮
第2試合 川俣・梁川 9-8 本宮



校内で授業研究に取り組んでいます ~校長による授業参観の開始~



佐藤先生とゲイブ先生

9月から校内授業研究の一環として校長による授業参観が行われています。アクティブ・ラーニング型授業の研究を中心に昨年度から開始しました。9月14日は英語科の佐藤美津子教諭とALTのGabe(ゲイブ)先生によるコミュニケーション英語Iの授業(1年2組)を参観しました。前半は「好きなもの」「好きな人」を問う疑問文「Who/What is your favorite~?」について、ペアになり質問する側と答える側に分かれて話し合う活動を行い、その後、先生方によるQ and Aテストが行われました。後半は「好きなもの」「好きな人」の理由を問う疑問文「Who/What is your favorite~ and why」に答える文章を作成する活動が行われました。生徒諸君は自分の好きな飲み物、食べ物、コンビニエンスストア、季節、教科、コメディアンなどの身近な素材について、楽しみながら文章を作成するとともに、積極的に英会話に取り組んでいました。

Q and Aテストを受ける生徒たち。
生徒が引いたカードに記入されている質問を読み上げる先生方。



9月24日は保健体育科の長澤敏浩教諭の授業を参観しました。1年1組女子のバレーボールの授業でしたが、開始前に準備運動が済んでおり、準備万端の状態での授業が始まりました。前半は、ホワイトボードに書き込まれた本時のねらいである「サーブをしっかりと入れる」「サーブレシーブ」「つなぐ」を確認後、オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブについて練習が行われました。生徒たちは個別の活動からペアによる活動へと移りながら基本的な技術の確認と修得を図りました。後半は二つのチームに分かれ試合が行われましたが、試合前にチームの目標を話し合う活動と作戦を考察する活動、試合後はチームごとに試合を振り返る活動が行われました。授業全体を通して長澤先生からは、個々の技術的なレベルに応じた支援が適切に行われ、生徒たちは楽しみながら積極的に授業に取り組んでいました。

左 オーバーハンドパスの技術指導に耳を傾ける生徒たち。
右 試合前にゲームの進め方について説明を聴く生徒たち。



創立百周年記念事業実行委員会より

9月20日、創立百周年記念事業実行委員会の記念誌小委員会が開かれました。記念誌編纂に向けて、今後のスケジュールや役割分担について、話し合いが行われました。また、9月6日、校舎の航空写真撮影が行われ、素晴らしい写真に仕上がりました。



図書館に行こう! ~「読書の秋」編~

読書の秋です。図書館では司書の田代さんが、面白い本、ためになる本を紹介するコーナーや、興味深いテーマに沿った本を集めたコーナーをつくって、生徒の皆さんを待っています。読書の楽しいところは、自分が知らない世界を体験したり、魅力的な人物と出会ったりすることができることです。さあ図書館に行きましょう!きっと素晴らしい本に出会えるはずですよ。

